

『総合都市研究』総目次

創刊号 1977年11月

創刊のことば	千葉 正士	
都市研究センターの発足にあたって	沼田稲次郎	1
震災時における都市の構造と機能の急変に関する研究方法の体系化	中野 尊正	
——酒田における火災を例として——	谷本 三郎 中林 一樹 松田 磐余	5
都民の身体運動に関する生態学的研究	飯塚 鉄雄・中村 誠	
——歩行について——	日丸 哲也・影山 健 中西 光雄・岩崎 義正 永田 晟・二条 康邦 磯川 正教・小椋 博 金本 益男・品田めぐみ	33
都市と交通機関の物質代謝	半谷 高久 信楽 義夫	45
都市研究センター設立の経過	川名吉門	65
都市研究センター設立経過に関する資料		73
東京都立大学都市研究とその成果・1962—1977		107
都市研究センター収納文献（昭和51年度分）		115
欧 文 要 約		117

第2号 特集：震災予防研究 1978年3月

編集者のことば		1
震災予防研究の課題	中野 尊正	3
サイスミック・マイクロゾーニングにおける震度分布の評価手法について		
——その1. 墓石調査による震度と被害の関係からのアプローチ	望月 利男・国井 隆弘 松田 磐余・宮野 道雄	19
地震動の強さを評価する方法について	国井 隆弘・田中 努	31
耐震設計用入力地震動について		
——模擬地震波作成をめぐる諸問題——	鈴木 浩平・青木 繁	39
地震性斜面崩壊とその調査法について	田村 俊和	55
地震時における道路機能の低下と交通障害	井上 広胤・山川 仁 秋山 哲男	65
東京における地震水害	丸井 信雄・安川 浩 宇井 正和・新井 邦夫	93
災害時行動研究	中野 尊正・風間 亮	103

欧 文 要 約	111
---------	-----

第3号 1978年3月

編集者のことば	1
都市研究方法論の前提問題	千葉 正士・武内 和彦 3
大都市住宅の課題と現実	
——公共・集合・高層住宅研究のための覚書——	古屋野正伍 11
沖縄県の青少年の都市生活観	詫摩 武俊 25
一都市における親子関係に関する調査研究	
——診断性P・C・R検査による母—子関係の分析——	森 重敏 33
最近の東京の膨脹と都市問題への1・2の視点	渡辺 良雄 49
『総合都市研究』第1年度総目次	77
欧 文 要 約	79

第4号 特集 大都市地域の居住環境整備に関する基礎的研究 1977年9月

編集者のことば	1
大都市地域の居住地環境整備計画上の問題	川名吉エ門 3
大都市居住と都市内部人口移動	渡辺 良雄 11
大都市地域の建築密度分布からみた居住地形成の動向と居住環境の現状	中林 一樹 37
新市街地形成の計画化に関する手法について	石田 頼房 63
非計画的市街地形成に伴う居住環境の諸問題	大石 堪山 79
市街地周辺地域における小規模住宅地開発の	
集積による市街地形成と問題点及び対応	石田 頼房・池田 孝之 103
土地区画整理事業施行地区における土地利用過程の特徴	波多野憲男 121
既成市街地の地区的動向と居住環境の整備について	高見沢邦郎 143
住商工混合地域・下町における産業・生活環境整備のための実態的研究	中林 一樹 157
良好一般住宅地の個別更新過程に関する実態的研究	高見沢邦郎 177

集団行動としての請願・陳情について	三井 宏隆・川村 正行 189
都市研究関係研究機関——1. 海外——	197
欧 文 要 約	201

第5号 特集 震災予防研究 1979年2月

編集者のことば	1
1978年伊豆大島近海地震における道路の斜面被害	国井 隆弘・荏本 孝久 3
1978年伊豆大島近海地震に伴う地震断層、加速度分布と被害	望月 利男・田村 俊和 松田 馨余・宮野 道雄 9
伊豆大島近海地震による道路被害とその影響	山川 仁・秋山 哲男 39

災害が地域に与えるダメージとしての被害の大きさについて

——最近の災害事例による試論的検討——	中林 一樹	71
座談会「東海地震」をめぐる学術研究上の諸問題…話題提供者：和達 清夫・阿倍 北夫 檀原 毅・中野 尊正		91
1978年6月宮城県沖地震における墓石調査による最大加速度の推定	国井 隆弘・荏本 孝久	103
丘陵地の宅地造成と地震被害		
——1978年宮城県沖地震の被害を例として——	田村 俊和・阿部 隆 宮城 豊彦	115
大地震後に想定される地下鉄トンネルの浸水		
——東京江東地区の場合——	新井 邦夫・丸井 信雄	133
大都市地震時における避難シミュレーション解析	堀口 孝男・小坂 俊吉	145

第6号 特集 都市研究方法論をめぐって 1979年3月

編集者のことば		1
東京史の方法：		
「富国強兵型」都市＝東京の成立		
「東京史」研究の方法仮説として	石塚 裕道	3
資本主義と都市問題		
——石塚裕道著『東京の社会経済史』を読んで	河村 望	11
紹介書評 赤木須留喜『東京都政の研究：		
普選下における東京都政の研究』	大森 彌	21
建築線制度に関する研究・その一	石田 頼房・池田 孝之	33
都市の主体的概念	許 萬元	73
都市研究方法論の方法	千葉 正士	87

都市研究センター収納文献（昭和52年度分）		101
『総合都市研究』第2年度総目次		104
欧文要約		107

第7号 1979年10月

編集者のことば		1
都市研究における「問題の体系」		
——第一次試案——	千葉 正士	3
「東京中央市区劃定之問題」について	石田 頼房	15
多摩・墨田地区における集合住宅居住者の健康・体力についての意識	永田 晟・磯川 正教 金本 益男・酒井 誠 品川めぐみ・小椋 博	35
都市農業と農家の都市的土地利用	大石 堪山	47
商業地区における交通特性と交通規制の水準設定に関する研究	山川 仁・秋山 哲男	73

小河内貯水地操作のための基礎的検討

——確率水文学によるアプローチ——……………新井 邦夫・丸井 信雄… 113

書 評

『計画的な小集団開発 これからのいえづくり・まちづくり』延藤安弘著……………中林 一樹… 123

書評に答えて——大森彌氏に——……………赤木須留喜… 125

第8号 特集 震災予防研究(その3) 1979年12月

編集者のことば：社会科学的震災予防研究の必要性……………中野 尊正・千葉 正士… 1

最近の地震災害の特色と今後の研究課題……………中野 尊正… 3

地震が地域に与えたダメージとその地域特性について

——1978年宮城県沖地震を例として——……………中林 一樹…15

東京下町地区の地震時群集避難について……………堀口 孝男・小坂 俊吉…27

住民予定避難行動からみた一次集合場所の可能性について……………山川 仁・秋山 哲男…41

大地震後に想定される地下空間水没の確率評価試案(1)……………新井 邦夫…57

ダム・堤防の決壊及び物体の落下に伴う波に関する予備的考察

……………丸井 信雄・安川 浩・宇井 正和…65

地震動特性のパターン化と耐震設計への応用に関する基礎研究

……………鈴木 浩平・戸沢 祥二・青木 繁…73

墓石調査から推定される最大加速度に関する2, 3の考察……………国井 隆弘… 111

丘陵地における木造家屋の地震被害

—被害率, 被害タイプおよび被害発生に關与する地盤条件の時代による変化—

……………田村 俊和… 121

木造建物の諸性状と地震被害の關係について

——1968年十勝沖地震, 1978年宮城県沖地震の調査から——

……………望月 利男・宮野 道男… 131

1968年十勝沖地震における鉄筋コンクリート造建物の被害と地盤の關係

……………望月 利男・宮野 道雄・田村 俊和… 146

サイズミック・マイクロゾーニングにおける震度分布の評価手法について：その2

関東大地震の断層モデルによる実体波のRadiation Patternと被害分布の対応性

……………望月 利男・宮野 道雄・松田 馨余・小泉 敏一… 165

地盤構造にもとづくサイズミック・マイクロゾーニングについて

——東京都大田区を例として——……………松田 馨余・望月 利男・小泉 敏一… 177

都市研究センター収納文献(昭和53年度分)…………… 193

第9号 特集 「多摩地区総合調査」研究報告1 1980年3月

編集者のことば…………… 1

大都市の集合住宅をめぐる共同研究

——「多摩地区総合調査」研究報告のはじめに——……………古屋野正伍… 3

大都市における社会生活上の居住性

——多摩ニュータウンと共同性・社会関係・社会的地位（その1）——

高橋 和宏・江原由美子
寺田 良一・園部 雅之
池田 寛二・野辺 政雄…… 5

大規模ニュータウン開発と近郊農業

——多摩ニュータウン開発地域を事例として——……………大石 堪山

山川 充夫・石村 満宏
小金沢孝昭・片岡 務……93

アパート団地（集合住宅）と一戸建居住者の

居住意識に関する予備的研究……………加藤 義明・詫摩 武俊… 139

Estate：訳語とその周辺……………水谷 三公… 189

【総合都市研究】第3年度総目次…………… 195

第10号 特集 大都市地域の居住環境に関する研究 1980年11月

編集者のことば……………千葉 正士…… 1

大都市区域における居住環境上の諸問題について……………石田 頼房…… 3

「多摩地区総合調査」研究報告2

東京大都市地域の土地利用変化からみた居住地の形成過程と

多摩ニュータウン開発……………渡辺 良雄・武内 和彦・中林 一樹・小林 昭…… 7

民間住宅地開発による住宅地形成と居住環境整備……………波多野憲男・古里 実……29

多摩丘陵の緑地現況に関する植生学的考察……………武内 和彦……59

講演会記録：多摩ニュータウンの計画と建設

多摩ニュータウンの建設経過と課題……………北条 晃敏……69

多摩ニュータウンにおける土地利用計画の機能……………川手 昭二……78

既成市街地の狭隘道路問題……………高見沢邦郎・小場瀬令二・池田 孝之……91

建築線制に関する研究・その2……………石田 頼房・池田 孝之・佐藤 仁美… 119

居住システムにおける物資の流れと変化の研究

……………半谷 高久・落合 正宏・柏木 裕一・大竹千代子… 155

「計画的な小集団開発」に対する書評にこたえて……………延藤 安弘… 183

第11号 特集 「震災予防研究」（その4） 1980年12月

編集者のことば…………… 1

災害の調査研究に関する若干の問題……………中野 尊正…… 3

自然災害における外力と被害との関係およびその関係を変化させる要因について

……………水谷 武司…… 9

市街地の安全性と居住性に関する居住者評価とその防災志向について

——地域危険度から防災まちづくりへの展開の試論的検討——……………中林 一樹……19

仙台市におけるブロック塀の調査報告

——1978年宮城県沖地震によるその被害と地形ならびに残存塀との比較——

……………望月 利男・宮野 道雄
西戸 英雄・田代 侃……39

1978年伊豆大島近海地震における道路斜面被害に関する2・3の検討

……………国井 隆弘・荏本 孝久……47

警戒宣言発令による自動車交通流の変化

——東京江東地区を例として——……………山川 仁・秋山 哲男……67

高圧ガス施設の地震対策の現状と問題点……………鈴木 浩平……79

破堤によってはらんする水流の挙動について……………丸井 信雄・安川 浩
宇井 正和 ……95

液状化した地盤上の建物の地震応答と地盤の力学的性質……………塩野 計司… 103

地震時における砂質地盤の液状化危険度の検討……………望月 利男・小泉 敏一… 117

サイスミック・マイクロゾーニングにおける震度分布の評価手法について：その3

関東大地震における震度と震源距離・方向性・地形の関係……………望月 利男・松田 磐余
宮野 道雄 …… 127

サイスミック・マイクロゾーニングにおける震度分布の評価手法について：その4

内陸型中級地震の墓石・住家被害などによる震度分布……………望月 利男・松田 磐余
宮野 道雄 …… 141

第12号 特集 「多摩地区総合調査」研究報告 3 1981年3月

編集者のことば…………… 1

大都市における社会生活上の居住性

——多摩ニュータウンと共同性・社会関係・社会的地位（その2）——

団地交際と社会的地位……………高橋 和宏…… 3

団地における社会的地位の組成と参加・交際・居留意識

——社会的地位の三つの分析水準とその意味——……………高橋 和宏・寺田 良一……15

ローカル・アタッチメント再考（Ⅱ）

——住民類型論序説——……………高橋 和宏・野辺 政雄……33

集合住宅居住者の心理特性

住宅問題と心理学……………詫摩 武俊……47

住み心地要因の分析……………加藤 義明……49

居住環境と対人関係を中心として……………本間 道子… 117

居住環境と援助行動・援助の規範意識について……………加藤 義明・松井 豊… 133

請願運動からみた都市問題としての農業・農村問題

——多摩ニュータウン開発におけるいわゆる「第19住区問題」の意味するもの——
……………大石 堪山… 145

建築線制度に関する研究・その3……………石田 頼房・池田 孝之… 167

都市研究センター収納文献（昭和54年度分）…………… 189

『総合都市研究』第4年度総目録…………… 191

第13号 特集 国際会議報告 1981年9月

編集者のことば	千葉 正士	1
第24回国際地理学会議にみる都市環境の地理学的研究の進歩と展望	中野 尊正	3
大都市の計画と管理に関する国際会議	倉沢 進	15
東京・ニューヨーク都市問題シンポジウム	下山 瑛二	31
国際住宅・都市問題会議に参加して	松田 雄孝	35

都市法の原理	五十嵐敬喜	39
大都市における環境行政（その1）	松田 雄孝	55
多摩地区における地震に関する 地域危険度調査結果の要約と考察	瀬川 俊	65
大都市居住環境保全と都市市民運動	大石 堪山	79

第14号 特集 震災予防研究（その5） 1981年12月

編集者のことば		1
災害情報と社会的レスポンス	中野 尊正	3
群集の流動と事故	新井 邦夫・丸井 信雄	13
大都市地震時における避難シミュレーション解析（その2）	堀口 孝男・小坂 俊吉	21
地震による都市的災害の様相に関する基礎的考察	中林 一樹	37
都市における平常時火災の実態と市街地特性との関係に関する二・三の検討	望月 利男・荻本 孝久	59
Dam Break Wave と管渠内段波	丸井 信雄・安川 浩 新井 邦夫・宇井 正和	81
生産施設内の機械設備の耐震設計	鈴木 浩平・青木 繁	93
微動から推定される傾斜地の盛土地盤の振動特性	国井 隆弘	103
1978年宮城県沖地震における墓石調査による推定最大加速度と微動特性の関係	国井 隆弘・荻本 孝久	109
サイスミック・マイクロゾーニングにおける震度分布の評価手法について——その5 福井地震における震度と震源距離・地形（地盤）の関係——	望月 利男・松田 磐余 宮野 道雄・小泉 敏一	121

第15号 特集 大都市地域の居住環境整備に関する研究（続） 1982年3月

編集者のことば	千葉 正士	1
東京大都市地域における職住分離の地域構成と大都市居住問題	渡辺 良雄	3
京浜大都市圏における一戸建・長屋建持家の敷地規模と 住宅取得パターンの動向	島田 良一	25
東京大都市地域の住宅地開発に伴う地形改変	武内 和彦・吉岡 慎一	49
多摩ニュータウン土地区画整備事業地区の市街地形成に関する調査	波多野憲男・宮下 泰昌	59
多摩ニュータウン開発と農業との事前調整	大石 堪山	89

建築線制度に関する研究・その4——外国建築線制度の導入とその機能の理解——	石田 頼房・池田 孝之	113
大都市における環境行政（その1）——自動車排出ガス51年度規制問題(2)——	松田 雄孝	145
総合都市研究総目次（第13, 14, 15号）		155
第16号 特集 東京都立大学都市センター5周年記念 1982年9月		
編集者のことば		1
座談会 都市研究の反省と展望	川名吉 _エ 門・古屋野正伍・東郷 尚武 堀口 孝男・石田 頼房・大石 堪山 加藤 義明・倉沢 進・中野 尊正 中村 誠・半谷 高久・千葉 正士	3
東京都立大学都市研究センターの現状と課題	東京都立大学都市研究センター	29
特集 「多摩地区総合調査」研究報告 4		
市街地開発事業と住民		
多摩ニュータウン区画整理地区における住民の生活意識	倉沢 進・園部 雅久 平岡 義和・文屋 俊子	33
大都市における社会生活上の居住性（その3）		
——多摩ニュータウンと共同性・社会関係・社会的地位——		
近隣交際関係と社会的地位論	高橋 和宏	63
地域社会の共同の関係形成の解明をめざして		
——地位クラスター・アプローチと生活類型アプローチ——	高橋 和宏・寺田 良一	83
集合住宅住民の諸類型		
——クラスター分析による住民類型構成の試み——	高橋 和宏・野辺 政雄	109
<hr/>		
都 市		
人間と自然の接点	本谷 勲	145
<hr/>		
資 料		
建築形態規制と共同住宅の土地利用		
横浜市における新設共同住宅の規模・容積率に関する特別集計（昭和54年度分）	島田 良一	151
都市研究センター収納文献（昭和56年度分）		207
<hr/>		
第17号 特集 震災予防研究（その6） 1982年12月		
編集者のことば 防災研究の理念	中野 尊正	1
常時微動が示す二・三の情報に関する研究	国井 隆弘	3
dam-break wave と管渠内段波（その2）		
——任意断面一様管渠への拡張——	丸井 信雄・安川 浩・新井 邦夫・宇井 正和	15

地震水害の危険度	新井 邦夫・丸井 信雄	23
地盤との連成効果を考慮した RC 造建物の震害に関する研究		
……望月 利男・松田 磐余・荏本 孝久・宮野 道雄・小泉 敏一		31
地震時における地域別延焼危険度の推移	小谷 正行	47
シンポジウム討議記録——地震時における地域別延焼危険度の推移——		57
機械設備の地震時破壊特性の推定について	青木 繁・鈴木 浩平	69
比較的最近の地震による人的被害の実態		
——とくに負傷者について——	望月 利男・宮野 道雄・松田 磐余	77
地震による負傷者について		
——1982年浦河沖地震を例とした予備的研究・その1——	小坂 俊吉・塩野 計司	85
都市建設・構造物のサイズミック・リスク・アナリシス		
(地震時損傷状態の評価法について)	鈴木 浩平	109
災害と社会変動		
——災害の長期的影響に関する研究の動向——	山本 康正	117
シンポジウム討議記録——災害と社会変動		131

第18号 特集 住民心理 1983年3月

巻頭言	詫摩 武俊	1
集合住宅居住者の居留意識の分析	加藤 義明	3
集合住宅居住者の居留意識変容過程	本間 道子・詫摩 武俊・加藤 義明	35
都市生活における保養行動イメージの多変量解析	今井 省吾	53
近隣超音の心理社会的構造に関する研究	山内 宏太郎・久田 満・山本 和郎	65
都市と老人	林 洋一	89
CITIZEN'S MOVEMENT ENVIRONMENTAL DESTRUCTION IN JAPAN		
……Nozomu Kawamura		99

建築線制度に関する研究・その5	石田 頼房・籾 健夫・池田 孝之	115
建築線制度に関する研究・その6		
——東京以外における指定建築線運用の実際——	池田 孝之	141
『総合都市研究』昭和57年度総目次(第16, 17, 18号)		164

第19号 特集 大都市地域の居住環境整備に関する研究(3) 1983年9月

編集者のことば	石田 頼房	1
多摩ニュータウン新住宅市街地開発事業における		
居住地環境整備に関する調査	波多野憲男・佐藤 雅義	3
多摩土地区画整理事業地区内農家の土地利用行動	波多野憲男	45
建築線制度に関する研究・その7		
——ドイツ都市計画制度における街路線・建築線と地区計画——	石田 頼房	69
建築線制度に関する研究・その8		
——東京市建築条例案検討における建築線——	石田 頼房・池田 孝之	95

身体障害者の外出特性に関する調査分析……………秋山 哲男・阿久津英雄……51
 災害時の避難に関する調査研究

——三重県美杉村の豪雨災害（昭和57.8）——……………加藤 雅・松田 磐余……81

共同研究の効果をあげるために

——個人的経験による共同研究論——……………千葉 正士… 111

第23号 1984年9月

編集にあたって……………倉沢 進…… 1

特集 都市的生活様式の実証的研究（その1）

——東京都神津島村調査報告——……………倉沢 進・小林 良二
 森岡 清志・園部 雅久
 藤崎 宏子・松本 康
 文屋 俊子・竹中 英紀
 大内田鶴子・玉野 和志…… 5

I 問題

I-1 都市的生活様式論の問題

I-2 神津島村調査の目的と方法

II 神津島村の歴史と生業

II-1 歴史と概況

II-2 漁業

II-3 農業

III 世帯と地域集団

III-1 世帯・家業・移動（次回）

III-2 神津島の地域集団

IV 専門サービスによる問題処理

IV-1 行政サービスの変化と特色

IV-2 水・エネルギー供給サービス（次回）

IV-3 廃棄物等処理サービス

IV-4 建設・災害対策サービス（次回）

IV-6 流通関連サービス（次回）

IV-6 情報サービス

IV-7 教育文化サービス

IV-8 医療・保健サービス

IV-9 社会福祉サービス

IV-10 観光サービス

IV-11 日用品提供サービス

V 相互扶助サービスによる問題処理（次回）

V-1 分析の方法

V-2 交際行動の分析

V-3 クラスター分析の結果

VI 島と外社会 (次回)

VII 今後の課題 (次回)

資料・日本建築学会図書室所蔵妻木文庫中の建築法規

関係資料・その2

——東京市建築条例中衛生事項草按——……………解説：石田 頼房……99

第23号 特集 都市防災研究(その8) 1984年12月

編集にあたって……………震災予防研究グループ…… 1

都市研究と震災予防……………中野 尊正…… 3

長野県西部地震における地すべりと土石流

……………丸井 信雄・安川 浩・新井 邦夫・宇井 正和……13

1984年長野県西部地震における墓石調査による

最大加速分布の推定……………国井 隆弘・荻本 孝久……29

都市施設・構造物の耐震性再点検と耐震性強化に関する若干の問題点

……………鈴木 浩平・青木 繁……35

1855年安政江戸地震における関東地方の震度分布に関する研究…望月 利男・荻本 孝久……49

常時微動が示す二・三の情報に関する研究(その2)

……………国井 隆弘・広中 了・和田 信博……69

地震時の人間行動に関する研究

その1：1964年新潟地震の広域避難行動……………堀口 孝男・小坂 俊吉……77

1983年日本海中部地震の負傷者(その2)……………塩野 計司・小坂 俊吉……93

長崎豪雨災害と台風8210号災害による人的被害と対策上の諸問題

……………松田 磐余・花井 徳寶・望月 利男… 107

昭和57年長崎豪雨における被害状況ならびに土石流・斜面崩壊の発生に

関する判別解析……………望月 利男・花井 徳寶・松田 磐余… 117

資料：ロサンゼルス市地震安全計画にともなう環境影響調査報告・草案……………塩野 計司… 133

第24号 特集 土地問題—土地経済と土地政策 1985年3月

編集にあたって……………石田 頼房…… 1

地価理論の研究……………佐藤 哲郎…… 3

「開発利益と外部経済」論批判……………岩見良太郎……35

住宅地開発の事業収支からみた東京大都市地域の居住地形成について

……………鈴木 桂子・中林 一樹

渡辺 良雄 ……49

講演記録：土地政策の機能と限界……………華山 謙……91

第25号 1985年9月

編集者のことば……………望月 利男…… 1

1984年世田谷局洞道内通信ケーブル火災事故の社会的影響	中林 一樹・宮野 道雄 望月 利男 3
1984年世田谷電話局洞道内通信ケーブル火災事故の独居老人に対する影響	若林 佳史・望月 利男45
大都市における独居老人の実態 (I)	若林 佳史・望月 利男	
——世田谷区の独居老人について——	加藤 義明67
都市的生活様式の実証的研究 (その2)		85
——東京都神津島村調査報告——		
序	森岡 清志85
I 世帯と家業	江上 渉86
II 専門サービスによる問題処理	園部 雅久・竹中 英紀 文屋 俊子・橋本 祐子98
III 相互扶助サービスによる問題処理	大西 康男・江上 渉 116
IV 島と外社会	松本 康・江上 渉 文屋 俊子・橋本 祐子 159
V 残された課題	倉沢 進 180

翻訳・解説

資料・アメリカにおける障害者・老人の利用を考慮した交通施設の歴史と概観	秋山 哲男 181
-------------------------------------	-------	-----------

第26号 特集 都市防災研究 (その9) 1985年12月

編集者のことば	望月 利男 1
大都市下水道における豪雨時の水流管理方式に関する一考察	安川 浩・宇井 正和 3
都市防災不燃化促進事業調査地区の市街地状況と建替え意向	小川雄二郎15
弾塑性応答計算に用いる入力地震動の強さの評価に関する検討	西川 孝夫・関 崇夫23
関東地方における入力地震動特性に関する研究	望月 利男・荻本 孝久36
マイクロゾーニングを目的とした地下埋設管の被害予測	国井 隆弘53
地震時の人間行動に関する研究 その2:1948年福井地震	堀口 孝男・望月 利男 荒木 正孝・前田 博司・小坂 俊吉59
1984年長野県西部地震の震度と家屋被害—木曾郡王滝村—	塩野 計司・松田 磐余 望月 利男87
家屋被害の評価方法について	塩野 計司・望月 利男 101
——1984年長野県西部地震・王滝村の被害を例とした予備的考察——		
地震時の人間行動に関する研究 その3:1984年長野県西部地震の王滝村	堀口 孝男・望月 利男 小坂 俊吉 111
地震被害に起因する世帯単位での生活支障とその応急対応・		
生活復旧過程に関する研究	中林 一樹・塩野 計司 望月 利男 119
——1984年長野県西部地震に関する王滝村住民へのアンケート調査から——		

1984年長野県西部地震が王滝村住民に与えた心理的影響……………若林 佳史・望月 利男… 145

第27号 1986年3月

編集者のことば……………	望月 利男…………	1
都市イメージの分析……………	加藤 義明…………	3
——壱岐と鳥取の基礎データ——		
都市イメージに関連する要因の分析……………	林 洋…………	27
大都市イメージの構造……………	山本真理子…………	35
居住環境が健康・スポーツ意識に及ぼす影響について……………	舛本 直文・酒井 誠 山崎 秀夫・佐久間春夫 中村 誠……………	45
高層集合住宅と子どもの遊びや発達に関する研究……………	山本 清洋・三宅 紀子 山崎 秀夫・舛本 直文 酒井 誠……………	65
——子どもの発達を規定する要因の分析——		
大都市住民における地震防災対策の実態と構造……………	小坂 俊吉…………	75
1985年9月19, 20日メキシコ地震調査報告書……………	望月 利男…………	93
——メキシコ——国・人・地震——		

第28号 1986年9月

編集者の言葉……………	望月 利男…………	1
特集 都市整備と土地問題		
土地区画整理事業と宅地供給……………	波多野憲男・糸長 浩司…………	3
その1 宅地供給からみた土地区画整理事業の特性		
その2 宅地供給としての農民・土地所有者の土地運用		
土地区画整理事業についての最近の判例の動向……………	土生 照子…………	39
日本における土地区画整理制度史概説 1870~1980……………	石田 頼房…………	45
住宅・住環境問題の動向と高齢者の居住実態……………	高見沢邦郎・松本 暢子…………	89
高層住宅と子どもの遊びや発達に関する研究		
——高層居住は子どもにとって望ましいか——……………		
	三宅 紀子・山本 清洋 山崎 秀夫・舛本 直文・酒井 誠……………	109
土地素因による都市の災害危険指標と危険評価点……………	水谷 武司…………	127
“過疎”檜原村の選挙調査報告		
——高度成長の時代とその後——……………		
	御厨 貴・野島 博之…………	141
地域権力構造の実証的研究		
——S市の事例—— (英文)……………		
	河村 望・高橋 和宏 迫田 耕作……………	173

第29号 1987年3月

都市防災のための基礎的調査研究の今後の課題……………	中野 尊正…………	3
文化遺産保存における都市的災害の位置付け……………	小川雄二郎…………	13
豪雨時におけるマンホール内流況と損失係数……………	安川 浩・宇井 正和…………	23

大都市の市街地不燃化に向けての制度とその運用実態に関する研究	中林 一樹	35
東京都区部の震度分布	望月 利男・積木 紀男	
——1985年10月4日茨城・千葉県境地震時のアンケート調査——	塩野 計司	67
東京の市街地構造と地震火災	小川 正幸	87
耐震設計における信頼性と裕度について	青木 繁・鈴木 浩平	101
——設備機器の耐震設計を例に——		
コンビナート地域における地震危険度評価の一手法	鈴木 浩平・原 文雄	109
家屋の被害尺度について	塩野 計司・望月 利男	121
——その2：地震保険・損害認定基準との比較——		
1974年伊豆半島沖地震に関する住民の災害認知と対応	近藤 道雄・松田 磐余	131
財政からみた関東大震災	新井 邦夫	143
メキシコ地震災害調査	望月 利男・積木 紀男	
——震度分布を中心として——	荏本 孝久・ルシア・カーサベルデア	153
メキシコ地震災害調査	望月 利男・荏本 孝久	
——建築物に関連した落下物被害について——	渡辺 朋之	165

第30号 1987年5月

編集者のことば	望月 利男	1
1982年長崎豪雨時の人間行動	花井 徳寶・若林 佳史	
——鳴滝・芒塚地区について——	望月 利男	3
1982年長崎豪雨災害の心理的影響	若林 佳史・花月 徳寶	
——鳴滝・芒塚地区の住民について——	望月 利男	17
1986年台風10号による被害の特徴と出水への対応	松田 磐余	51
<hr/>		
1986年11月15日台湾地震被害調査報告	西田 孝夫・世良 耕作	
	周 義敦	75
障害者の移動制約と交通手段利用特性に関する研究	秋山 哲男	93
都市再開発と小売の競争構造	関根 孝	103
明治初期東京の土地所有状況	野口 孝一	121
——山本忠兵衛編『区分町鑑東京地主案内』を中心に——		
<hr/>		
総合都市研究 総目次		157